

令和 4 年 11 月 18 日

「2022 年ノーベル賞解説講演会」を開催します

今年のノーベル物理学賞は、「量子もつれ」という特殊な状態を用いて「ベルの不等式」の破れを実験で示したアメリカのクラウザー博士とフランスのアスペ教授、「量子テレポーテーション」という現象を実験で示したオーストリアのツァイリンガー教授の 3 人に授与されます。量子に関する基礎物理学への貢献と量子情報科学という分野の開拓につながったことが評価されました。

また、ノーベル生理学・医学賞には、絶滅した人類の遺伝情報を解析する技術を確立し、人類の進化の過程に関する研究で大きな貢献をした、ドイツのスバンテ・ペーボ博士が選ばれました。

さらに、ノーベル化学賞では、さまざまな分子の結合を効率的に行う「クリックケミストリー」と呼ばれる手法を提唱したアメリカのシャープレス教授、クリックケミストリーの柱となる反応を開発したデンマークのメルダル教授、この手法を生きた細胞でも使えるようにしたアメリカのベルトツツィ教授の 3 人に授与されます。この研究をもとに新しい治療薬の開発などが進められています。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2022 年ノーベル物理学賞、ノーベル生理学・医学賞、ノーベル化学賞についての解説講演会を開催することといたしました。是非ご参加ください。

記

【2022 年ノーベル賞解説講演会】

- 日時：2022 年 12 月 11 日（日） 13:00～16:30（開場 12:30）
 - 場所：広島大学東千田キャンパス S207 講義室（広島市中区東千田町 1-1-89）
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
 - 講演者・タイトル：
 - 13:00～ 飯沼 昌隆（広島大学先進理工系科学研究科・量子物質科学プログラム助教）
「ベルの不等式の破れがもたらしたもの」
 - 14:00～ 井川 武（広島大学統合生命科学研究科・基礎生物学/生命医科学プログラム准教授）
「私たちのゲノムに残る化石人類の痕跡」
 - 15:00～ 吉田 拡人（広島大学先進理工系科学研究科・化学プログラム教授）
「クリックケミストリーと生体直交化学」
- 講演終了後 質問コーナー



- 参加費：無料
- お申し込み：右の QR コードよりお申し込みください。
（QR コードの読み込みが難しい方は、下のメールアドレスにご連絡ください。）

※新型コロナウイルスの感染状況によりオンライン開催となる場合があります。

開催方法等に変更がある場合は、申し込み時のメールアドレスにお知らせします。

●主催：広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

【お問い合わせ先】

理学部附属未来創生科学人材育成センター
E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
Tel : 082-424-4384

2022年

ノーベル賞 解説講演会



○参加費無料
○要事前申込

どなたでも
ご参加ください

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、
QRコードより事前申込をお願いします。



QRコードの読み込みが
難しい方は、下のメール
アドレスにご連絡ください。

日時

場所

12月11日(日)

13:00-16:30 (開場12:30)

広島大学 東千田キャンパス

S207講義室

13:00- 物理学賞

ベルの不等式の破れがもたらしたもの

飯沼 昌隆

先進理工系科学研究科
量子物質科学プログラム
助教



14:00- 生理学・医学賞

私たちのゲノムに残る化石人類の痕跡

井川 武

統合生命科学研究科
基礎生物学/生命医科学プログラム
准教授



15:00- 化学賞

クリックケミストリーと生体直交化学

吉田 拓人

先進理工系科学研究科
化学プログラム
教授



講演終了後

質問コーナー

■ アクセス

バス: JR広島駅→南口バス乗り場 広島バス(50号東西線)アルパーク方面行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分
電車: JR広島駅→市内電車乗り場 広電1番広島港行き→「日赤病院前」下車 徒歩2分
※ 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■ お問い合わせ

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

Email: ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-424-4384